

ゲノム編集食品に関するアンケート

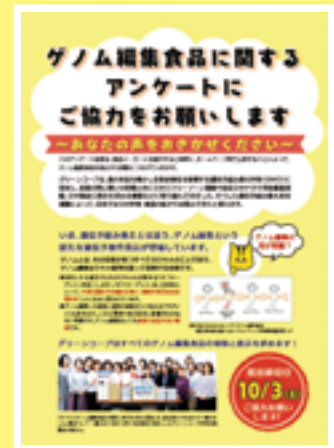


結果報告

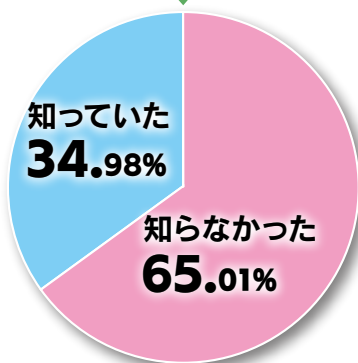
2020年9月に実施した「ゲノム編集食品に関するアンケート」に、たくさんの回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

最終回答枚数は**69,198枚** 回収率は**23.91%**でした。

今回のアンケートを通して、多くの人にゲノム編集技術について知ってもらうきっかけにしたいと考えました。また、その結果を広く公表し、食品メーカーにもお届けして、さらにゲノム編集食品の流通や開発を阻止する運動につなげていきます。

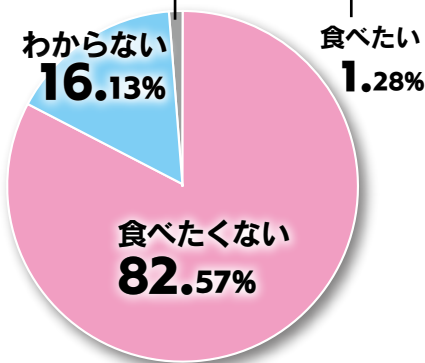


Q1 ゲノム編集技術（遺伝子の働きを壊す技術）が登場していることをご存じでしたか。



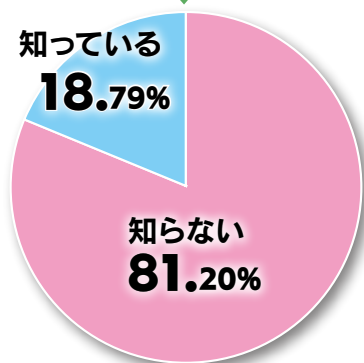
ゲノム編集技術を知らない方が6割を超えています。今回のアンケートをとおして、お知らせできたのは良かったと考えます。

Q2 ゲノム編集食品を、あなたは食べたいと思いますか。



ゲノム編集技術のことを知ることで、「食べたくない」との意思を示した方が、8割を超えています。伝えることの大切さを改めて実感しました。

Q3 種苗法の改定の内容をご存じですか。



食べものを守るという観点から、農作物の源である種子の問題「種苗法の改定」について、グリーンコープでは強い懸念を抱いています。

直近情報！ ゲノム編集トマトが私たちの食卓に！

2020年12月12日 朝日新聞の掲載記事「ゲノム編集トマト流通へ」によると、12月11日、ゲノム編集技術を使って品種改良したトマトが日本初のゲノム編集食品として国に受理されたとのことです。「CRISPR/Cas9」というゲノム編集技術によって特定の遺伝子を壊し、血圧上昇を抑える効果があると言われる「GABA」の蓄積量を通常より約5倍高めたトマトです。ゲノム編集食品に関する届け出制度では、遺伝子組み換え技術のように外部の遺伝子を挿入しない場合は、「従来の品種改良と区別がつかない」として安全性審査は行われず、表示も当面必要ないとしています。しかし、遺伝子を壊す技術は、ねらった場所以外の遺伝子に影響が出る可能性がゼロではありません。今後、種が農家向けに販売される予定で、店頭に並ぶには1年程度かかると言われています。

「ゲノム編集食品に関するアンケート」各生協回収結果

生協名	配布枚数	回収枚数	回収率
ふくしま準備会	—	5	—
しがまる	129	94	73.00%
おおさか	6,016	507	8.40%
ひょうご	4,521	324	7.20%
とっとり	3,904	699	17.90%
（島根）	6,111	585	9.57%
おかやま	4,894	3,102	63.30%
ひろしま	16,967	5,831	34.00%
やまぐち	18,340	1,928	10.51%
ふくおか（北九州）	29,385	8,336	28.00%
ふくおか（中部）	24,941	5,876	23.50%
ふくおか（福岡）	37,483	10,906	29.00%
ふくおか（南）	29,002	10,167	35.00%
さが	9,114	3,563	39.09%
（長崎）	13,323	4,387	33.00%
くまもと	45,700	4,886	10.70%
おおいた	21,400	5,153	24.07%
かごしま	12,415	1,852	14.90%
みやざき	5,744	997	17.30%
合計	289,389	69,198	23.91%

ゲノム編集食品に関するアンケート

Q4

食にまつわることで、気になることがあればご記入ください

出された ご意見・ご要望等 (一部抜粋)

出されたご質問等については、各県の生協のチラシ、機関紙等でも掲載されます。

安心・安全な食品

- 自分や家族、特に子どもたちが食べるものの安全性に不安を抱えることが多くなっているの、安心して食べるものや育てるもの（家庭菜園で使う種や苗）を選ぶ世の中になってほしいです。
- 安心安全な食材を使い家族の健康を守っていきたいと思っています。知らないところで組み換えられたり編集されたりした食品が出回り、口に入ることになるのは怖いです。
- 子や孫に影響がないようにしていただきたい。私たちにもわかるように伝えてください。
- 学校給食も食材がとても気になる。次代を担う子どもたちの今も守ってあげたいと思う一人である。
- グリーンコープへの信頼・感謝・期待また“食”を守る“母”として、グリーンコープからの情報ありがたい。
- 輸入に頼らず安全で安心な食品の自給率を高めていかないといけないと思う。農家の負担を軽減して、農業が若い世代へと続いていくように安全な米や野菜作りを応援したい。
- 将来の食糧不足について、食料自給率、海外への依存、輸入に頼らず国産を増やしてグリーンコープを信頼して安心して食べ続けてもらいたい。
- 食の安全に関することがあまり公表されていない気がする。パッケージや値段、利便性、CM等に惑わされがちなのが現状。
- 人が自然の営みを勝手にいじって自分たちの都合のいいように変えることが将来どのような影響を及ぼすのか怖い。私たちは自然の恵みを頂いていることを忘れてはならないと思う。
- 若い人たちにもっと、食の大切さを考えてほしい。

食品表示法の改正について

- 正しい情報公開をすることが、企業や国の義務だと思います。後は、消費者が選択すればよいと思います。
- ゲノム編集であれ遺伝子組み換えであれ、添加物であれ、全ての情報がわかるようにするべきです。これらを使った食品の安全性の証明がされない限り、使われた食品があれば、それを買うかどうかは消費者が決めることなので、表示もしくはホームページに公開がなされるべきと考えます。
- 安全性がわからない表示や法律になってしまわないか怖いです。
- 政府が添加物や遺伝子組み換えの表示を緩和して書かなくしているのと、いろんな基準が他国と比べてもすごいゆるすぎて危険を感じています。安全なものを食べたいです。

ゲノム編集食品、遺伝子組み換えへの不安

- ゲノムや遺伝子組み換え、農薬や添加物など、諸外国と同レベル、またはそれ以上に規制してほしい。また、必ず内容がわかるように表記してほしい。
- 遺伝子組み換え、ゲノム編集のなるべく行われていない食べ物を家族に食べさせたい。規制を強く求めます。
- ゲノム編集も遺伝子組み換えも、とてもこわいものだと思います。もっと日本中で関心が高まり危険なものだとわかって反対の声が上がってほしいです。
- ゲノム編集食品は、食べたくない。子どもたちにも食べさせたくない。表示の義務化を望む。
- ゲノム編集や遺伝子組み換えの食品を食べていくとどのようなことが考えられるのか、具体的に知りたい。
- 食の安全を守ることは命を守る。生をおびやかすものはいずれ滅びると思うのでゲノム編集など論外だと思う。
- 遺伝子組み換えよりもっと恐ろしいゲノム編集食品は自分も家族も食したくないが、このままでは選ぶ権利さえないのがとても心配です。

たくさんのご意見・ご要望をありがとうございました



みなさんから届けられた質問の中で以下2点について、天笠啓祐さんに答えていただきました

Q 遺伝子組み換えやゲノム編集食品を食べると具体的に人に与える影響とはどんなものなのでしょうか？

A 遺伝子組み換え食品やゲノム編集食品は、これまで自然界になかった生物を利用した、食経験がない食品です。そのため何が起きるか分かりません。時には有害な毒素が作られたり、それが発がん物質だったりすることがあり得ます。そのため厳重な安全性評価が必要です。政府は遺伝子組み換え食品での評価は義務付けましたが、とても甘く、安全性を確保できるものになっていません。ゲノム編集食品に至っては安全性を評価しなくてよいとしました。一番懸念されるのは、子どもたちの健康被害です。

Q 消費者庁が「ゲノム編集食品」表示義務を設けないのは何故でしょうか？

A 政府は、遺伝子組み換え食品が思うように消費者に受け入れられなかったことを教訓に、ゲノム編集食品に関しては、環境影響評価も食の安全審査も不要とし、さらに届出も任意としました。これは通常の食品と同じ扱いでいいということです。そのため表示制度も設定しませんでした。



グリーンコープ共同体顧問
遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表

天笠 啓祐さん

食品添加物の不安

- 果糖ブドウ糖液糖不使用、極力無農薬の商品、そしてフェアトレード商品の普及を望みます。
- 遺伝子組み換え、ゲノム編集、添加物、特定の添加物（ソルビン酸Kなど）、食品表示、など気になることの記載。
- 食品添加物について常に気にしている。日本では普通に多くの食品に入っています。何故か知りたいと思っています。
- 添加物、人工甘味料、環境ホルモンなど、日々気をつけているようでも避けられない物が多いのだと思います。それらの正しい知識を得たいと考えています。



農薬残留、有機の基準への不安

- 日本の農薬規制が世界に逆行し、緩くなっていること。
- 国内産の農作物が安全という神話もグリホサートの使用量が増え（世界的には減少と聞きます）残留放射能の問題があり、崩れつつあると思います。
- 日本がここ数年、国主導で農薬の残留基準を一気に引き上げていること。
- 国産の食べ物が安全とは限らない。除草剤、農薬の使用した履歴をはっきりとしてほしい。

種子法、種苗法、種についての危機感

- 山田正彦さんのお話を聞いてから種苗法のその後が気になっています。Q1の食品メーカーからの回答を興味深く見ました。今年はお米の価格が下がりそうですが、備蓄米、輸入米などもありますし生産者のことなども気になります。
- 種子法廃止もですが、私たち国民に、あまり知らされることなく、簡単に法律が変わっていき、食の安全が脅かされる時代だと思う。安全第一の世の中になってほしい。
- 種苗法の改正など国民の安全よりも多国籍企業の利益優先としか思えないことをしている国への不信任感。
- それぞれの地域に伝えられる野菜などの種子を農家が伝えられなくなる事を危惧しています。
- 国が動かないなら、県や市単位で種苗法の改正から種や食を守る条例をつくってほしい。

2020年12月2日に種苗法改正案は国会において可決成立しました。

非常に残念ですが、国会前にはインスタで知ったという若い女性たちや若者、幼児を連れたママたちなど、これまでとは違う層の市民の人たちが集まってきて希望を感じました。種子条例同様、タネを守る新たな動きを作っていきたいです。【日本の種子(たね)を守る会の事務局のコメント】

食糧の主権に対して、対象が行政であれ、民間であれ、消費者がタネの作り手に向けて、「遺伝子組み換えやゲノム編集のもの、輸入のものは、食べたくない」と、はっきり伝えていくことが最も大切と考えます。グリーンコープは、これまですすめてきた「農業を守る、国産を大切にする」という取り組みを今後も力強くすすめていきます。

経済効率優先の世の中への不安

- 便利さを追求するあまり、不自然な食品がいつのまにか増えているのが、恐いです。安心して食べられるようになってほしいです。
- 経済優先で食が商品化していく、食文化がなくなっていく危機を感じます。
- 利益優先になり食の安全が二の次になる社会になってしまうのは避けたい事態です。食の安全に取り組んでいる生産者に、きちんと利益が入るようにしてほしいです。
- 農薬、環境ホルモン物質、遺伝子組み換え食品など、利便性や一部企業の利益のために、食の安全が脅かされている事は、本当に恐ろしいです。そして、それを知らない人が本当に多い事が一番の問題だと思います。



気候危機への不安

- 地球温暖化などの環境問題も、わたしたちが食を見直すことで解決を助けることにつながるだろうということ。多くの人に、考えることをしてほしいと願います。
- 近年の異常気象や災害で、農作物の生産が順調でなくなっている現在、GCの信念を守り続けることが容易でなくなる将来が心配です。食は命、遺伝子組み換えとかゲノムとかではなく自然を子ども達に残して欲しい。
- 地球の気温や環境が早いスピードで変化しており、その変化に対する対策も必要。
- 自然災害が頻繁に起こるようになり、食物も自然の物ができにくくなる時代になりました。人間は口に入れる物で身体も命もささえています。食の安全は最も基本だと考えます。
- 気候変動で将来食糧不足になる可能性もあり、遺伝子操作やゲノム編集食品なども受け入れていかなければならない事にもなりかねない。地球温暖化対策は重要な課題だと思います。
- 私は野菜を生産し販売をしています。近年温暖化により野菜を作るのが難しくなっています。5年くらい前から感じています。

メーカーからの応答についての感想

- ゲノム編集食品や遺伝子組み換え食品等が各社回答にもあるように、国の方針や環境（状況）に基づいて、今後完全に制御することが不可能になった場合、健康や成長にどのくらいの影響があるのか摂取頻度や量によつての影響と細かく知ってから使用するかどうかの判断をしたい。
- 「国の方針に従って」との回答が多いですが、そもそもその国の安全性の基準が信用できるものではないので、(ゲノム編集技術にしても食品添加物にしても) 一体何を基準に選んだら良いのか、今、目の前にある食品は本当に安全なのか?ということを見ると、安心してなかなか買えないと思います。
- ゲノム編集食品をメーカーがどう対応するのか知りたかったので、11社の回答を見せて頂き、アンケートをして下さったこと、回答の内容に感動しました。
- 食品メーカーの考えを知ることで購入先を決定することができる。しかし食品メーカーもその考えを表にださないところもあるので買う方としては不安なく購入できるようになりたい。
- もしも、ゲノム編集がOKとなった場合「ゲノム編集食品である」と表示義務を確定して欲しい。任意となると、どの会社も記載しないと思われる。自分で食品を選びたいと思う。
- メーカーからの回答で“国の方針に基づいて判断・検討する”と答えたところは、国がOKすればゲノム編集食品を使う可能性があるかと解釈できるのでこわいなと思う。
- 食品メーカーへの問い合わせ及び回答は大変ありがとうございました。今後もこのような行動を続けていただければ心強く思います。

海洋汚染について

- 海洋汚染について、脱プラスチック生活を、グリーンコップからできることをもっと発信してほしい。フリース素材、マイクロプラスチック、スポンジ製品のかわりになるもの。又、塩も岩塩を取り扱うなど…
- 魚や貝に含まれるマイクロプラスチックの量と人体に及ぼす影響が知りたい。
- 福島原発の放射能の汚染水がいっぱいになって海に流すとなれば、魚はどうなるのが心配です。

みんなの声を集めて、これからも「遺伝子組み換え食品」「ゲノム編集食品」に反対する運動を力強く推し進めていきましょう！